

# 蔵出しお宝ニュース

— 第 4 号 —

三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と、行事の案内・紹介などを随時行って参りたいと思っております。

## 「手ぬぐいを染めてみようー染色を学ぶー」を開催

7月25日(水)の午後1時30分から、資料館1階ロビーにて夏休み子ども体験講座、第1回「手ぬぐいを染めてみようー染色を学ぶー」を開催しました。講師は資料館職員が務め、当日は20名の子どもたちが参加しました。日本では古来より藍染やろうけつ染めなど、さまざまな染色文化が発達してきましたが、今回は身近なものを使って染色しようということで、玉ねぎの皮を用いて、約1mのさらしを個々に絞り染めにしました。



最初にさらしを水洗いし、輪ゴムを使って絞りを作りました。続いて玉ねぎの皮を煮た鍋にさらしを入れしばらく炊き、続いてミョウバンを溶いた鍋にさらしを移し発色させました。このとききれいな黄色に変わります。その後水洗いし、輪ゴムを溶いて絞りの様子を見ました。

合い間に資料館所蔵の着物などを用いて染色の歴史も学びました。子どもたちは本物の資料を前に、わくわく胸をときめかせながら解説を聞いていました。

手ぬぐいは大小いろいろな絞り柄に染め上がりました。芸術的な世界観を持った世界に1枚だけの手ぬぐいの完成です。保護者の方も、家庭でできる染物とあって大変熱心に様子を見守ってくださいました。作り方のコピーは資料館入り口のラックに入れておりますので、皆様もぜひご家庭でお試ください。



- (上) 絞りを製作
- (左) 発色した手ぬぐいを洗う
- (右) 自慢の作品を手にはいポーズ!

## 「みやびな遊び・投扇興とうせんきょうーみんなセンスが良いですねー」を開催

8月7日（火）の午後1時30分から、図書館2階会議室にて夏休み子ども体験講座、第2回「みやびな遊び・投扇興ーみんなセンスが良いですねー」を開催しました。当日は約10名の参加がありました。扇子は時代や用途に応じていろいろな形や大きさがあります。最初に資料館職員によって扇子の歴史を資料館や個人蔵の資料をもとに解説をし、その後は大投扇興大会を行いました。



投扇興は江戸時代に始められた遊戯で、桐で作った台座いちように銀杏の葉形の的を置き、その的を5本の扇子を順番に投げて落とすというものです。この的のことを「蝶ちよう」と呼びます。ただしこの投扇興、みやびな遊びだけあって、ただ蝶を落とすだけでは0点なのです。源氏物語の54帖にちなむ名前のついた得点表があり、それに基づいた蝶の落とし方と扇子の形にしなければ点数にならないのです。



参加した子どもたちは最初に扇子の投げ方を練習し、順番に5本ずつ投げていきました。思うように扇子が飛ばず、なかなか点数につながりませんでした。最後には55点を獲得する参加者もあり、拍手が起こりました。日本の伝統的かつ高尚な遊びの一端を有意義に体験することができました。

(上) 投扇興

(下) 集中して蝶に向かって扇子を「えいっ！」

おき どん しくん じゆう  
置 床 春 秋



掛物 佛通寺 管長 やまざきえきじゆう 山崎益洲 筆  
「心外無法」

〔昭和12（1937）年の夏に書かれたものです〕

花入 すねあてかご 臈当籠  
花 季のもの

### 《開催中》

### 私たちのやっさ踊り展

会期：平成24年8月3日（金）～8月12日（土）

時間：午前10時～午後6時

（入場は午後5時30分まで）

ただし10日（金）～12日（日）は午後5時まで

会場：三原市民ギャラリー ギャラリー1

三原市城町一丁目2番1号

（ペアシティ三原西館2階）

問い合わせ：三原市経済部観光文化課

TEL0848-67-6015 FAX0848-64-4103

発行 平成24年（2012）8月9日

〒723-0015 三原市円一町2丁目3-2

（三原市立中央図書館 北隣）

TEL 0848-62-5595

三原市歴史民俗資料館 山崎愛一郎 編集